



* 学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

9月1日は「防災の日」です

～熊本地震や北陸の豪雨災害を教訓に、命を守る「日頃の備え」を～

本日、9月1日は「防災の日」です。この「防災の日」は、大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災を教訓とし、10万人以上の犠牲を出した惨状を風化させることなく、国民一人ひとりの防災意識を高めて災害への備えを充実させるために制定されました。また、この時期が台風シーズンの到来と重なることも背景にあります。

この夏休みの間、私たちの身の回りでも自然災害の脅威を強く実感する出来事が続いています。先日の熊本地震では激しい揺れによって甚大な被害が発生し、また、私たちの足元である北陸地方を襲った豪雨災害でも、河川の氾濫や土砂災害により一瞬にして身近な生活環境が一変しました。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。だからこそ、こうした災害を他人事と思わず、自分たちの問題として捉え直すことが大切です。

防災で一番大切なことは、「自分の命を自分で守るための日頃からの備えと知識」です。ご家庭におかれましても、この機会にぜひ以下の点について点検や話し合いを行ってください。

- ・家庭での家具の転倒防止対策や配置の見直しを行うこと
- ・非常用持ち出しバッグの準備や、食料・水などの備蓄品の点検を行うこと
- ・ハザードマップを確認し、自分の住む地域のリスクや避難場所・避難経路を確かめること
- ・災害時の行動マニュアルや、いざという時の家族間での連絡方法について話し合っておくこと

【歴史的惨事に学ぶ：関東大震災と近年の震災】

大正12年（1923年）9月1日11時58分に発生した関東大地震（M7.9推定）では、発生が昼食時と重なったことで大規模な延焼火災が発生し、死者・行方不明者は約10万5,000人に及びました。下表の通り、阪神・淡路大震災や東日本大震災と比較しても、極めて甚大な被害をもたらしました。

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	1923年（大正12年）9月1日 土曜日 午前11時58分	1995年（平成7年）1月17日 火曜日 午前5時46分	2011年（平成23年）3月11日 金曜日 午後2時46分
地震規模	マグニチュード M7.9	マグニチュード M7.3	モーメントマグニチュード Mw9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 （うち焼死 約9割）	約5,500人 （うち室屋・圧死 約7割）	約1万8千人 （うち溺死 約9割）
災害関連死	—	約900人	約3,800人
全壊・焼焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経済被害	約55億円	約9兆6千億円	約16兆9千億円
当時のGDP	約149億円	約522兆円	約497兆円
GDP比	約37%	約2%	約3%
当時の国家予算	約14億円	約73兆円	約92兆円

出典：諸井・武村（2004）『日本地震工学会論文集』第4巻第4号、東京市役所（1926）『東京震災：前編』、一橋大学社会科学統計情報センター『長期経済統計データベース』、気象庁、警察庁、消防庁、復興庁、国土庁、内閣府、財務省、兵庫県資料をもとに内閣府防災担当作成

災害時には自分の身を守る「自助」に加え、中学生として「地域や周りの人のためにできることは何か」を考える「共助」の意識も大切になります。ぜひご家庭でも防災について話し合い、命を守る行動について意識を高めていきましょう。